

小さな学部の大きな夢
—English Track—

国際日本学部 尾関直子



Naoko Ozeki

国際日本学部教授
応用言語学、英語教育

1954年 愛知県名古屋市
1976年 慶應義塾大学文学部卒業
1985年 セント・マイケルズ・カレッジ大学院
TESL/TEFL
修士課程修了 TESL/TEFL 修士号
2000年 インディアナ・ユニバーシティ・オブ・ベン
シルベニア大学院英語学部修辞学及び言
語学科博士課程修了
明治大学経営学部助教授
同教授を経て2008年より現職

【主な著書】

2010年12月「小、中、高、大の一貫する英語コミュニケーション能力の到達基準の策定とその検証」(平成20年度～平成23年度科学研究費補助金基盤研究A 中間報告書、研究代表者投野由紀夫)、共著
2010年10月「成長する英語学習者：学習者要因と自律学習」、共著、大修館書店
2010年4月「高等学校新学習指導要領の展開」、共著、明治図書

国際日本学部は2008年4月に開設した明治大学の末っ子学部である。1学年の定員は300名と明治大学の学部としては最も小さな学部である。しかし、その末っ子の小さな学部は、大きな夢を持ち、地球規模で活躍できる逞しい人材を着々と育てている。明治大学の国際化を牽引し、さらには日本の国際化を牽引する役目を担って誕生した学部は、まさにその役目を果たしつつある。

現在、すべての学年の学生が揃ったところであるが、4学年の学生総数は1372名、うち留学生は

166名である。また、正規の留学生とは別に毎年約20名の交換留学生を受け入れている。しかも、毎年留学生の割合は増えている。国際日本学部は、留学生の受け入れだけでなく、日本人学生の海外への送り出しに關しても力を注いでいる。2011年度はセメスター留学(正規の学生としてアメリカやイギリス大学に入学)する学生はオレゴン大学2名、インディアナ大学9名、ニューヨーク州立大学7名、アラバマ大学4名、オックスフォード大学ハートフォードカレッジ1名、フロリダ州立大学(デイズニーワールドで

のインターンシップ半年間)38名、フロリダ州立大学5名と、合計66名となった。また、夏期の語学留学生(オレゴン大学、オックスフォード大学)は45名である。このように、明治大学の国際化を推進してきた国際日本学部であるが、さらに、その国際化を推進する象徴となるプログラムが2011年4月に誕生した。「English Track(イングリッシュ・トラック)」である。このプログラムは、明治大学が国際化拠点整備事業(グローバル30)に採択され、そのプロジェクトの一環として誕生したもので、国際日本学部

を英語による授業のみで卒業できるプログラムである。

プログラム開設が決定してから開設するまでは短期間しかなかったが、学部は教員、職員共、準備に忙しかつた。カリキュラムの決定、担当教員の決定、プログラムの広報、学生便覧その他書類の英語化など、考えなくてはいけないこと、決定しなくてはいけないことが多数あった。広報に關しては、蟹瀬誠一学部長や白戸伸一教務主任は、自ら香港、ベトナム、中国などに行かれ、積極的にEnglish Trackの宣伝をして下さった。また、他の教員も関東地区にあるインターナショナルスクールにプログラムの説明をしに行ったり下さったりした。さらに、宣伝用のパンフレットは、日本語を公開している世界中の高校や大学に送付した。その努力が実って、11人が入学することになった。東日本大震災の影響で

来日を秋に延期したものが4人いたが、4月には7人が入学した。その国籍の内訳は、韓国2人、香港2人、アメリカ1人、ベトナム1名となっている。English Trackは、後期からも入学できるが、秋入学の応募者は既に10名以上おり、English Trackの定員12名を十分満たすことができた。

それでは、English Trackでは、どのような授業をしているのであるか。English Trackで開講されている科目は、基本的に国際日本学部で通常開講されている科目と同じである。ただ、English Trackは、英語が堪能な留学生が対象なので、学部で開講されている科目のうち、必修の英語科目は除かれている。唯一、通常の学部開講科目と違う点は、入学時に留学生に日本語の能力を要求していないので、日本語を「から勉強したい」と思う留学生がたくさん

ることを想定し、初級の日本語をEnglish Trackで開講していることにある。

今後、English Trackのカリキュラムをますます充実させるため、演習(ゼミ)の担当教員数を増やしたり、フィールド・トリップなども考えたりしなくてはならない。また、学生たちの学年が上がるにつれて、就職を踏まえて、インターンシップの在り方、就職ガイダンスなどを学部としても考えていかななくてはならない。このように、English Trackは、まだまだカリキュラムを充実させなくてはならないが、今後、確実に成長していくプログラムである。小さな学部で生まれたEnglish Trackであるが、明治大学の国際化にますます貢献できるプログラムになる予定であるので、その成長をどうか温かく見守って欲しい。



留学生との交流は、日常的な光景となっている



ある日の国際日本学部の学生たちの昼休み